

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	コベルプラス新潟駅前教室		
○保護者評価実施期間	令和6年 7月 23日		～ 令和6年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和6年 7月 23日		～ 令和6年 8月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○訪問先施設評価実施期間	令和6年 7月 23日		～ 令和6年 8月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 9月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多機能型事業所のため、訪問支援の中で見つけたお子様の課題を児童発達支援と放課後等デイサービスの療育に反映させることができる。また、療育での活動内容やお子様のご様子を園や学校に共有している。	訪問支援でのお子様のご様子を職員間で共有し、必要な支援を療育に取り入れている。 療育での様子を園や学校に共有し、訪問先で出来る支援などを一緒に検討している。	引き続き訪問先と連携しながら、それぞれの場所で出来る支援を検討していく。 研修などに参加し、職員のスキルアップを目指していく。
2	毎回訪問後に、訪問時のご様子を保護者様に丁寧に共有している。 訪問先には、翌月の訪問時に書面にて報告を行っている。	HUG、LINE、書面の郵送、お電話など、保護者様のご都合やその時の状況に応じて、お子様のご様子を共有している。	引き続き丁寧に報告を行う。 研修などを通して、職員のスキルアップを図り、課題やお困りごとに対して適切な助言や説明ができることを目指す。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員が児童発達支援と放課後等デイサービスの療育を兼任しているため、訪問支援が可能な日が限られている。	訪問支援員が児童発達支援と放課後等デイサービスの療育を兼任していること。専任の訪問支援員がいないこと。	訪問先と早めに日程の調整を行う。 専任の訪問支援員がいると支援をより提供しやすくなる。
2	訪問先のお子様のご様子に合わせて見学や声かけなどを行っているが、状況によって、直接支援や訪問先への助言ができないこともある。	保育所等訪問支援が新たに追加された事業ということもあり、事業所として訪問支援の経験が浅い。 交流級は訪問支援員が介入し、直接支援を行うことは難しい。	訪問先での支援については、今後も訪問先と相談しながら進めていく。(直接支援、間接支援など) 訪問を担当する職員だけでなく、職員全体でカンファレンスを行い、より良い支援や助言を検討していく。 研修への参加などを通して、職員のスキルアップを図り、家庭や訪問先での課題やお困りごとに対して適切な助言や説明ができるようにする。
3			